

◆ 住まいを考えたときのチョット情報 ◆

「こだわりイメージ」を考える。空間プロデューサー気分自由に想像しよう。
 ~多目的スペース 編~

楽しく・居る・空間
 あなたの空間づくりをお手伝いします

楽居空

「多目的スペース」
 についてどんなイメージでしょうか？

ここでいう「多目的スペース」は、広さや活用法をあらかじめ設定したスペースではありません。

設計士と住まいプランを進める段階で、もう少し広げると何か活用できそうな空間、または、デッドスペース（未活用の空間）について、考え方を改めて機能的に活用しようという事なんです。

日常生活を振り返ってみて、ちょっとした不便さが解消できるヒントになる場合もあります。

例えば、日の当たる庭に直接出られる縁側廊下をイメージしてみましょう。ベンチを置いて、天井付けの物干しフックを用意すると・・・

- 庭を望めながら、朝食したり、夕涼みしたり
- 窓を開けて、心地よいお昼寝タイム
- 雨の日は、ランドリースペースとして大活躍。

こんな風に考えると、住まいの一角の小スペースでも活用法を考えて機能的スペースを散りばめたステキな空間ができるかもよ。

空間プロデューサー気分自由に想像しよう。

そして、自分らしい住まいが一步步形に・・・。

・・・Coffee Break・・・ 

スペースが取れる場合は・・・

・「ゆとり空間がほしい！」ただそれだけ考えて、楽しいイメージを膨らませましょう。部屋の機能は人それぞれ。どんどん箇条書きで書き、設計士が整理して絵にします。

スペースが特殊な形の場合は・・・

・「小スペースじゃ何もできない。」と言わず、楽しいイメージを膨らませましょう。チョットしたこと「わーステキ！」「これ、イイね！」が見つかるかも・・・。

